

「釧路湿原自然再生協議会」

第36回 再生普及小委員会

令和3年2月19日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会
第36回 再生普及小委員会

日時：令和3年2月19日（金）14:00～15:30
場所：釧路地方合同庁舎5階 共用第1会議室
（釧路市幸町10丁目3番地）

----- 議 事 次 第 -----

- 1, 開会
- 2, 議事
 - 1) 再生普及小委員会の活動報告
 - 2) 湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について
 - 3) その他

----- 配 布 資 料 -----

- ・ 議事次第
- ・ 再生普及小委員会 委員名簿
- ・ 第36回再生普及小委員会 出席者名簿
- ・ 第36回再生普及小委員会 資料
 - [資料 1-1] 再生普及行動計画オフィスの取組について
 - [資料 1-2] 「ワンダグリンド・プロジェクト2020」参加状況
 - [資料 1-3] 小委員会事務局が実施する市民参加の取組の実施状況
 - [資料 1-4] 参加者アンケート集計結果
 - [資料 2] 湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について
 - [参考資料 1] 第4期再生普及行動計画
 - [参考資料 2] やってみよう！ジュニア研究（研究発表ボード）チラシ
- ・ 第35回再生普及小委員会ニュースレター
- ・ 意見・要望アンケート用紙

釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会 委員名簿

計:71名

■個人(31名)

(敬称略、五十音順)

No.	氏名	所属
1	石岡透	
2	伊藤毅	上智大学
3	甲斐田直子	筑波大学システム情報系(社会工学域)
4	金子正美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
5	神戸忠勝	
6	君塚孝一	(有)自然文化創舎
7	木村勲	
8	小松繁樹	
9	貞國利夫	釧路市立博物館
10	佐野修久	大阪市立大学大学院 都市経営研究科
11	清水信彦	
12	新庄久志	釧路国際ウェットランドセンター技術委員長(環境ファシリテーター)
13	杉澤拓男	
14	高崎優子	北海道教育大学教育学部釧路校
15	高嶋八千代	
16	高橋忠一	
17	竹中康進	
18	橘利器	トラウトフォーラム会員
19	橘治國	
20	鶴間秀典	
21	照井滋晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
22	中村太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
23	平岡俊一	滋賀県立大学 環境科学部環境政策・計画学科 准教授
24	蛭田真一	
25	松本文雄	
26	矢吹哲夫	北星学園大学 経済学部 教授
27	山本太郎	一般財団法人北海道河川財団
28	吉中厚裕	酪農学園大学
29	吉村暢彦	北海道大学環境科学院
30	渡邊剛弘	上智大学
31	渡辺義勇	

■団体(25名)

(敬称略、五十音順)

No.	団体/機関名	代表者名
1	阿寒国際ツルセンター(グルス)	主任解説員 河瀬 幸
2	釧路観光連盟	会長 中山 勝範
3	釧路国際ウェットランドセンター	理事長 蝦名 大也
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也
7	釧路シャケの会	会長 小杉 和寛
8	釧路武佐の森の会	会長 大西 英一
9	こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
10	公益財団法人日本鳥類保護連盟釧路支部	支部長 小柳 慶吾

No.	団体/機関名	代表者名
11	公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 原田 修
12	公益財団法人北海道環境財団	理事長 小林 三樹
13	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム	上席研究員 巖倉 啓子
14	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
15	道東のイトウを守る会	会長 神田 房行
16	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷺見 祐将
17	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
18	特定非営利活動法人 くしろ・わっと	理事長 小林 友幸
19	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
20	特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村	事務局長・理事 佐藤 吉人
21	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
22	北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク	代表 高橋 克巳
23	北海道標茶高等学校	校長 津嶋 拓慈
24	北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 テディ 齋藤
25	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■オブザーバー(5団体)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	釧路商工会議所	会頭 栗林 定正
2	釧路町商工会	会長 土井 茂人
3	標茶町商工会	会長 田中 進
4	弟子屈町商工会	会長 竹森 英彦
5	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■関係行政機関(10機関)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 石川 伸
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 田邊 仁
3	林野庁 北海道森林管理局	局長 原田 隆行
4	北海道 釧路総合振興局	局長 山口 修司
5	北海道教育庁 釧路教育局	局長 川端 雄一
6	釧路市	市長 蝦名 大也
7	釧路町	町長 小松 茂
8	標茶町	町長 佐藤 吉彦
9	弟子屈町	町長 徳永 哲雄
10	鶴居村	村長 大石 正行

釧路湿原自然再生協議会
第36回再生普及小委員会 出席者名簿

■個人(12名)

(敬称略、五十音順)

No	Zoom	氏名	所属
1	○	伊藤 毅	上智大学
2	○	君塚 孝一	自然文化創舎
3		清水 信彦	
4	○	新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター技術委員長 (環境ファシリテーター)
5		高崎 優子	北海道教育大学教育学部釧路校
6		高橋 忠一	
7		鶴間 秀典	
8		蛭田 真一	
9	○	矢吹 哲夫	北星学園大学 経済学部
10	○	山本 太郎	一般財団法人北海道河川財団
11	○	吉中 厚裕	酪農学園大学
12	○	渡邊 剛弘	上智大学

■団体(8団体)

(敬称略、五十音順)

No	Zoom	団体/機関名	出席者名
1		釧路観光連盟	専務理事 長沼 大平
2		釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
3		釧路湿原国立公園連絡協議会	事務局次長 元岡 直子
4	○	公益財団法人 北海道環境財団	環境教育課長 山本 泰志
5		こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
6		特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	研究員 小林 恒平
7		特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	井上 雅子
8	○	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム	上席研究員 巖倉 啓子

■関係行政機関(5機関)

(敬称略)

No	Zoom	団体/機関名	出席者名
1		国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	治水課長 池田 共実
2		環境省 釧路自然環境事務所	国立公園企画官 松尾 浩司
3	○	林野庁 北海道森林管理局	釧路湿原森林ふれあい推進センター 所長 川渕 義昭
4		北海道 釧路総合振興局	環境生活課 専門主任 曾我 浩二
5		釧路市	環境保全課 課長補佐 元岡 直子

「釧路湿原自然再生協議会」

第36回 再生普及小委員会

資 料

令和3年2月19日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

目 次

【再生普及小委員会の活動報告】

資料 1 - 1	再生普及行動計画オフィスの取組について	1
資料 1 - 2	「ワンダグリンダ・プロジェクト 2020」参加状況	7
資料 1 - 3	小委員会事務局が実施する市民参加の取組の実施状況	13
資料 1 - 4	参加者アンケート集計結果	21

【湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について】

資料 2	湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について	29
------	------------------------	-------	----

再生普及行動計画オフィスの取組について

再生普及行動計画の事務局として以下の取組を実施した。

1. ワーキンググループ等の開催

■第12回 再生普及推進のための連携チーム会合

[日時] 令和3年1月27日(水) 14:00~15:30

[場所] オンライン (Zoom)

[参加者] 8名

[議題] 1.小委員会事務局が実施する市民参加の取組みの実施状況について
2.湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について

■第12回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

[日時] 令和3年2月5日(金) 16:00~17:30

[場所] オンライン (Zoom)

[参加者] 11名

[議題] 1.ワーキンググループの取組報告
2.次年度の取組について

2. ワンダグリンド・プロジェクトの推進

ワンダグリンド・プロジェクトの取組広報、参加登録者との連携した啓発等を行った。

・参加登録者 65団体・個人、連携校4校、広報支援8施設 (資料1-2)

■広報・啓発等の取組

- ・ワンダグリンド活動報告書の配布によるプロジェクトの周知
- ・イベント等での活動紹介
- ・メールニュースやホームページでの発信
- ・ビジターセンターでの展示 等

■自然再生協議会等が実施する現地見学会等の取組のとりまとめ、周知資料の作成

- ・現地見学会の実施報告書およびアンケートのとりまとめを実施 (資料1-3、1-4)
- ・年間を通して広く市民への周知を図るため、取組み周知ポスターを作成

■フィールドワークショップの実施

○第25回フィールドワークショップ 1.3%のミズゴケ湿原へ!

[日時] 令和2年10月31日(土) 9:30~13:00

[場所] 鶴居村温根内

[案内人] 新庄久志氏 (釧路国際ウェットランドセンター主任技術員)

[参加者] 10名



○第26回フィールドワークショップ 厳寒の温根内川を訪ねて“冬の川の行方を探そう”

[日時] 令和3年2月9日(火) 9:00~13:00

[場所] 鶴居村温根内

[案内人] 新庄久志氏(釧路国際ウェットランドセンター主任技術員)

[参加者] 6名



3. 情報発信・普及活動

■ イベント、パネル展の開催

○小学5年生がみつめた猛禽が舞う空 ~僕にできること。伝えたいこと。~

[期間] 令和2年7月13日(水)から(展示中)

[場所] 温根内ビジターセンター

[内容] ワンダグリнда登録者の宮部碧氏が作成した猛禽新聞15点の展示

※第35回再生普及小委員会以降、6作品を追加



○ビジターセンター展示「アイヌ民族と植物」

[期間] 令和3年2月3日(水)から(展示中)

[場所] 温根内ビジターセンター

[内容] 釧路湿原で観察できるアイヌ民族が生活必需品としていた植物について紹介

[協力] タクッパ



○シルバーシティときわ台ヒルズ「釧路湿原自然再生パネル展」への協力

[期間] 令和3年2月1日(月)~2月28日(日)

[内容] 釧路湿原自然再生事業紹介パネルの貸し出し

■地域の図書館や博物館における資料の整備

- ・地域の図書館における、釧路湿原自然再生事業に係る資料の収蔵状況を確認
- ・釧路市中央図書館および各小委員会事務局との調整を実施

※次年度にかけて釧路市中央図書館への収蔵を進める（資料2）

■WEB サイトへの情報掲載とメールニュースの配信

○ウェブサイト

- ・「みんなで進める！釧路湿原の自然再生」(kushiro-wanda.com/)
ワンダグリンドプロジェクトの活動状況や釧路湿原で行われる行事情報、推進連携チームおよび再生普及小委員会、学校支援ワーキンググループ会合資料、第4期再生普及行動計画等を掲載
- ・「きづく わかる まもる 釧路湿原」(kushiro-ee.jp)
学校教育における湿原の活用に関する情報を掲載（以下4参照）

○メールニュース（ワンダグリンド☆ニュース）

- ・ワンダグリンド・プロジェクトの活動状況や釧路湿原で行われる行事情報を「ワンダグリンド☆ニュース」として配信（2回/月）
- ・ワンダグリンド☆ニュースをチラシとしてとりまとめ、メールニュースへの添付、チラシの郵送を実施（1回/月）。より多くの市民が情報に触れるよう、受信者に施設等への掲示を依頼。

4. 湿原学習のための学校支援ワーキンググループの取組課題の推進

■取組課題1「湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進」

○フィールド情報マップ (kushiro-ee.jp/fieldmap/) とりまとめに向けた現地踏査

- ・掲載予定の2箇所について現地踏査を実施
（塘路湖周辺フィールド、シラルトロ湖周辺フィールド）

○映像資料等のとりまとめ、連携校への提供

- ・フィールド学習のコーディネイトを行った3校（釧路市立中央小学校、釧路町立別保小学校、標茶町立標茶小学校）を対象として、学習当日の様子を映像資料にとりまとめ、各学校へ共有
- ・教材として以下の資料等を収集、作成し、学校教員に提供

【釧路町立別保小学校に提供】

- ヤチボウズ動画資料、現物サンプル（※釧路町の許可を得て釧路町森林公園にて採取）
- ヤチマナコ動画資料
- 北斗遺跡の写真資料
- 釧路川水系河川に関する参考ホームページ（写真・動画資料）
- 釧路川水系河川で生息が確認された魚類に関する資料

【釧路市立芦野小学校に提供】

- 釧路湿原に生息する生き物・歴史に係る資料、調べ学習にあたっての児童への助言

【釧路市立清明小学校に提供】

- 釧路にいるお勧めの生物、理由、お勧めのスポット等の情報提供

■取組課題2「自然再生の学校教育への活用促進」

授業支援の中で、題材として自然再生事業の取組みの紹介等を行った。

■取組課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」

○教員研修講座の実施

- ・タンチョウレスキューの現場から～釧路市動物園の取組み～

[日時] 令和3年1月23日(土) 10:00～11:30

[場所] オンライン講座

[講師] 飯間 裕子氏(釧路市動物園 ツル担当獣医)

[参加者] 11名(教員3名、一般8名)

[内容] 現在のタンチョウをとりまく現状、動物園への保護収容の原因、タンチョウの命をつなぐ現場で行われている様々な取組みなど。



- ・生き物たちの命をつなぐ知恵～冬を耐え忍ぶ生き物を探そう！

[日時] 令和3年2月11日(木・祝日) 10:00～11:40

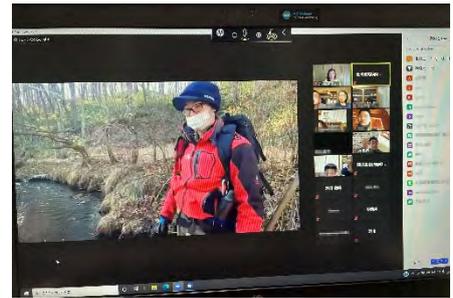
[場所] オンライン講座

[講師] 照井 滋晴氏

(NPO 法人環境把握推進ネットワーク代表)

[参加者] 14名(教員2名、一般12名)

[内容] 達古武湖に注ぎ込む小川で発見した様々な生き物と、その生息場所の映像、生態の解説を交え、生き物が冬を生き抜く知恵などの解説。



○授業支援の実施

- ・標茶町立標茶小学校でのレクチャー

[日時] 令和2年9月11日 13:30～15:05

[対象] 5年生1クラス

[内容] 児童の学習テーマに係る質疑対応、レクチャー

- ・釧路町立別保小学校でのレクチャー

[日時] 令和2年10月19日 9:10～10:55

[対象] 5年生33名

[内容] 児童の学習テーマに係る質疑対応、レクチャー



- ・釧路町立別保小学校への資料等の提供、教員への解説

[日時] 令和2年11月20日 13:00～13:30

[対象] 5年生教員

[内容] ヤチボウズサンプルの採取、ヤチボウズの解説



○釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、実践等の発表の場作り

- ・研究発表ボードを活用し探求的な学習に取り組む学校を対象に、発表会等のコーディネート及び取りまとめや発表にあたっての助言を実施

➤ 標茶町立標茶小学校 5 年生 プレ発表会【学校訪問】

[日時] 令和 2 年 11 月 19 日 13:30~15:05

[学校訪問] 境教授 (北海道教育大学)、秋山室長 (標茶町教育委員会)、オフィススタッフ 3 名

[概要] ポスターセッション形式で行われた各発表に対して助言を行った後、境教授、秋山室長より児童全員に対する総括の助言が行われた。



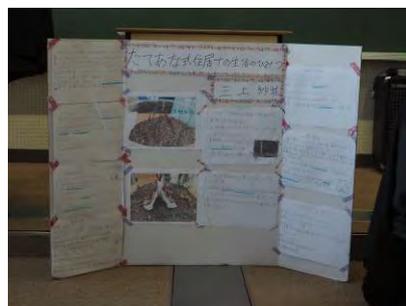
➤ 釧路町立別保小学校 5 年生 中間発表会【学校訪問・オンライン併用】

[日時] 令和 2 年 12 月 22 日 9:25~11:15

[学校訪問] 境教授 (北海道教育大学)、元岡課長補佐・松橋氏 (釧路市環境保全課) オフィススタッフ 2 名

[オンライン参加] オフィススタッフ 1 名

[概要] 4 グループに分かれて行われた各発表に対する助言、質疑対応を行った後、学校訪問者全員より総括のコメント。

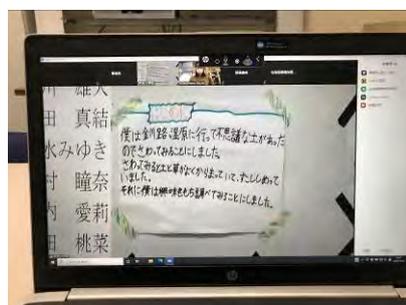


➤ 釧路市立中央小学校 5 年生 学習発表会【オンライン】

[日時] 令和 2 年 12 月 24 日 13:30~15:05

[オンライン参加] 元岡課長補佐・松橋氏 (釧路市環境保全課)、オフィススタッフ 2 名

[概要] 教室前方にて 1 名ずつ発表が行われた後、外部講師全員より総括のコメント。



➤ 釧路町立別保小学校 5 年生 学習発表会【学校訪問・オンライン併用】

[日時] 令和 3 年 2 月 12 日 9:25~11:20

[学校訪問] 元岡課長補佐・松橋氏 (釧路市環境保全課)、オフィススタッフ 1 名

[オンライン参加] オフィススタッフ 1 名

[概要] 2 グループに分かれて行われた各発表に対する助言、質疑を行った後、学校訪問者全員より総括のコメント。



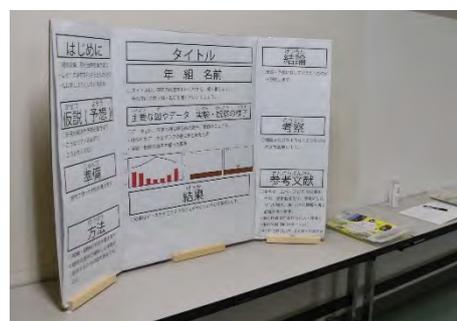
・研究発表ボードの評価・学校との共有

標茶小学校5年生の各研究発表ボードに対するコメントおよび、学外展示に向けた選定案を作成し、学校に共有。

・学外での発表会の企画

研究発表ボードの展示会「釧路湿原サイエンスフェア」の企画調整および巡回展示を実施。

実施日	実施場所	概要
令和3年 1月23日～1月31日	標茶町開発センター	標茶小学校の学区内に位置する施設において、同校から借用した研究発表ボードを展示
令和3年 2月1日～2月18日	塘路湖エコミュージアム センター	標茶小学校から借用した研究発表ボードを展示
令和3年 2月19日～2月25日	標茶町博物館	標茶小学校から借用した研究発表ボードを展示
令和3年 3月初旬 (予定)	釧路市役所 本庁舎	中央小学校の学区内に位置する釧路市役所において、同校から借用予定の研究発表ボードを展示予定
令和3年 3月下旬 (予定)	釧路市こども遊学館	中央小学校の学区内に位置する施設において、 <u>標茶小学校</u> 、 <u>中央小学校</u> 、 <u>別保小学校</u> 、 <u>芦野小学校</u> から借用予定の研究発表ボードを展示予定



《標茶町開発センターでの展示風景》

「ワンダグリンド・プロジェクト 2020」参加状況

○第 35 回再生普及小委員会以降の新規：1 団体

[団体名] はじめのいっぽ

[取組み内容] 実際に見て体験した自然の魅力をインスタグラムで発信

「ワンダグリンド・プロジェクト 2020」参加登録者一覧 (65 団体・個人 (2 月 19 日現在))

団体数	氏名・団体名	取組概要
1	愛国幸恵町内会	釧路湿原や町内会周辺の身近な自然の写真や『ワンダグリンド☆ニュース』を町内会で回覧
2	アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする
		釧路に自生する植物を使ったアート作品の制作と発表
		釧路川周辺の清掃活動を実施
3	イオン釧路店チアーズクラブ	環境学習
4	イオン釧路昭和店チアーズクラブ	地域と自然環境について学ぶ
5	伊勢 志郎	釧路湿原国立公園内の施設に来園記念の折鶴を提供。その他たんちよう釧路空港や丹頂鶴関連の施設にも提供
6	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～いきいき女性講座～ 「キラコタン岬とコッタロ湿原展望台から釧路湿原を眺めよう」
		～ふるさと講座～ 湿原ホテル講座 「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」
		～釧路学教養講座～ 「釧路湿原を訪ねて～キラコタン岬と自然再生地～」
		～まなぼつとわくわく体験隊～ 「森とあそぼう 2015」(達古武で自然再生を考える調査体験)
7	(NPO)美しい村・鶴居村観光協会	タンチョウ、湿原による環境のPR及び「湿原マップ」の販売
8	(株)FMくしろ	放送を通じて、湿原の植物や昆虫、動物、歴史などをわかりやすく楽しく発信する
9	大八木英雄	放置された釣糸の回収や清掃活動、達古武湖でのヒシ刈りを実施。また釧路湿原を歩いていて気付いた事を報告
10	お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」の販売
11	カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さを伝える
12	環境コンサルタント株式会社	達古武湖でカヌー清掃&ヒシ料理試食会を実施
13	(NPO)環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原に生息する希少動物や外来動植物に関する、学習会や講演会の実施
14	喜多島 麻鈴	コンサートを通じて湿原をPRする

団体数	氏名・団体名	取組概要
15	(NPO)霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原の保全活動を通して、人との交流を深め湿原ファンを増やす
16	釧路国際ウェットランドセンター	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を地域の人々と一緒に行う
		湿地・生物多様性に係る途上国の行政官等を対象とした湿地保全やワイズユースに関する研修を実施(JICAより委託)
		ホームページ等による釧路湿原の情報発信(日本語・英語)
17	釧路子ども劇場	温根内川でのザリガニ釣りによるウチダザリガニの駆除
18	釧路自然解説員	「自然再生解説員」により釧路湿原や自然再生事業の取組を細岡展望台を訪れる観光客を対象にわかりやすく解説する
19	釧路湿原 MTB クラブ	釧路湿原周辺の林道ツーリングの実施
20	釧路湿原川レンジャー	釧路湿原や釧路川の観察活動および環境学習を通じて良好な河川環境の維持に務める
21	釧路湿原国立公園 ボランティアレンジャーの会	クリーンウォークの実施
		ウチダザリガニ駆除調査
		温根内木道定点解説
22	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原に関する情報を自然情報誌、ガイドマップ、ホームページなどで提供する
		温根内ビジターセンターと塘路湖エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施する。また来訪者に自然解説や情報提供を行う
		釧路湿原こどもレンジャー活動を実施
		釧路湿原国立公園クリーンデーを実施
23	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信(会議公開、HP、ニュースレター発行)
		学習会や講演会などの実施
		市民参加の見学会の実施
		パネル展などの実施
		視察・研修などの受け入れ
		自然再生に関わる資料を発刊
24	釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	釧路湿原全国車いすマラソン大会を開催
25	釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原の美しさを参加者に伝える
26	釧路市中央図書館	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介
27	釧路市立博物館	釧路湿原に関わる調査を行い、企画展示や観察会、講演会などで湿原の魅力を伝える

団体数	氏名・団体名	取組概要
28	釧路シヤケの会	シヤケの稚魚の里親募集と放流式の実施
29	釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した学生考案の「咲くサクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し湿原自然再生に還元する
30	釧路走ろう会	釧路湿原マラソン大会をはじめ、練習会や個人で湿原の魅力を感じ爽やかな汗を流しながら走る仲間を募る
31	釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描く
32	(株) 釧路マーシュ&リバー	釧路川カヌーツーリングや釧路湿原ネイチャーウォークなどの実施。釧路湿原の様子を画像発信するなど全国そして全世界へ釧路湿原の魅力伝える
33	(NPO) 釧路湿原やちの会	釧路湿原の聖域キラコタン岬入口周辺の外来植物オオアワダチソウの駆除を実施
34	こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査・防除活動
35	小荷田 行男	釧路湿原とその周辺域の植物生態・自然史・鳥類生態の調査研究
36	木幡 弥乃莉	『ファンダグリンダ☆ニュース』、ポスターやチラシなどのイラストを描く
37	一般社団法人 釧路観光コンベンション協会	釧路湿原をはじめ釧路市の観光情報を発信
38	沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動(ごみ拾い)を実施
39	品田 忠	木の枝の作品作りや展示、木工教室を通し湿原からの水の大切さを伝える
40	上智大学 社会とエコロジー “リバーズ”	釧路湿原を軸に河川の環境保全、野生動物の保護活動などの取組を学ぶ
41	シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原を学ぶ自然文化講座を実施
42	太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育の実施(野外での水質調査、生物調査を通して身近な環境を楽しみながら学ぶ)
43	タクツパ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介
44	竹中 康進	「羽幌みんなのでつくる自然空間協議会」によるビオトープづくりの取組を紹介
45	田中 道人	ドローンで湿原を撮影し、動画で紹介する
46	(NPO) タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護に関する教育普及活動を実施
47	charcha	釧路湿原の自然再生活動や清掃活動に参加
		HP、SNSで活動を報告・告知する
48	辻野 正	釧路湿原の生き物の生態を紙細工で紹介する。その他作成指導や実演、完成品や作成キットの無料配布や展示を実施
49	(株) 鶴居村振興公社 鶴居村どさんこ牧場	北海道和種馬(通称どさんこ)による釧路湿原国立公園を含む地域でのホーストレッキングで多くの方々に地域の自然を楽しんで頂く
50	鶴田 義成	釧路長期滞在中、釧路湿原周辺の清掃活動を実施
		千葉県在住中、釧路湿原自然再生事業の取組を紹介

団体数	氏名・団体名	取組概要
51	(NPO)トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取組、湿原やトラスト地の観察会を行う
52	(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーメンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会を通じて子供達の野外活動で役立つものを寄付する
53	西村 咲輝	釧路湿原でのバードウォッチングを楽しみながら清掃活動を行う
54	西村 孝広	釣りの自警活動の一環として釣り場周辺の清掃活動を行う
		オオハンゴンソウの駆除活動を行う
55	(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	タンチョウの冬季自然採食地の整備、普及教育、生息環境調査を行う
56	はじめのいっぽ	Instagramで、実際に見て体験した自然の魅力を発信
57	長谷 泰昌	教員等を対象に湿原の魅力を伝える
		理科授業を通して環境教育に取り組む
58	北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、釧路湿原の学習を中心にすえ自然の大切さを体験学習する
59	北海道ウチダザリガニ 防除ネットワーク	釧路湿原の貴重な自然環境や保全に携わる魅力的な人々のことを紹介する
60	ミュージックサロン・タジマ	カラオケ発表会を通して湿原のPRや募金活動を行う
61	宮部 碧	釧路湿原についての展示製作
		豊田市のラムサール条約登録湿地での保全活動とその紹介
62	やちラボ	釧路湿原の旬の自然情報を行動計画オフィスに届ける
		釧路湿原の魅力を地元の人々や観光客に伝える
		釧路湿原に生息する「やちぼうず」の魅力をPRする
63	(株)優輪	釧路湿原の清掃活動を実施
64	雷別ドングリ倶楽部	シラルトロ湖上流の立枯れ被害にあった森林で市民参加型の自然再生事業を行う
65	酪農学園大学 環境地球科学研究室	釧路湿原における物質循環についての研究

連携校一覧（4校）

学校数	学校名	取組概要
1	標茶町立標茶小学校	自然再生事業地や釧路湿原を活用したフィールド学習、研究発表ボードを活用した探求学習
2	釧路市立中央小学校	釧路湿原を活用したフィールド学習、研究発表ボードを活用した探求学習
3	釧路町立別保小学校	釧路湿原を活用したフィールド学習、研究発表ボードを活用した探求学習
4	釧路湖陵高等学校	自然再生事業地や釧路湿原を活用したフィールド学習、発表資料のとりまとめ、学内および学外発表等の実施

広報支援としての参加施設一覧（8施設）

施設数	施設名	取組概要
1	釧路市民活動センターわっと	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
2	釧路町温水プール	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
3	釧路町地産地消センターロ・バザール	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
4	釧路町総合体育館	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
5	達古武オートキャンプ場	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
6	細岡ビジターズラウンジ	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
7	標茶町博物館	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架
8	古書 かわしま	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター・チラシ掲示、配架

小委員会事務局が実施する市民参加の取組の実施状況

自然再生協議会各小委員会が実施した市民参加の取組は以下のとおり。

開催日	イベント名	主催
8月30日(日) 8:30~14:30	カヌーde ヒシ刈り in 達古武湖	環境省釧路自然環境事務所
9月5日(土) 8:00~15:30	釧路湿原ラムサール条約40周年記念 みんなで調べる復元河川の世界・2020 (茅沼地区旧川復元現地見学会)	河川環境再生小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課) 釧路国際ウェットランドセンター
9月12日(土) 9月27日(日) 10月3日(土)	釧路湿原ラムサール条約登録40周年記念 市民講座 地域の宝は地球の宝! 釧路湿原の「すごい!」を体験しよう 【第1回】変わる「すごい!」の評価軸 【第2回】湿原フィールド訪問 【第3回】これからの湿原と私たち	再生普及小委員会事務局 (環境省釧路自然環境事務所)
9月13日(日) 8:30~12:40	幌呂地区湿原再生現地見学会	湿原再生小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課)
10月9日(金) 10:00~15:30	第7回久著呂川自然再生の見学ツアー	土砂流入小委員会事務局 (北海道釧路建設管理部治水課)
2月6日(土) 9:00~12:00	自然再生を考える調査体験会2020 「森づくりと生き物しらべ」 ~冬の沢歩きと沢の生き物観察!~	環境省釧路自然環境事務所

現地見学会実施報告書

日時：令和2年8月30日（日）8：30～14：30

場所：達古武オートキャンプ場

行事名：カヌー-de ヒシ刈り in 達古武湖

主催者：環境省釧路自然環境事務所

参加者人数：16名（10代から50代）、ボランティア3名

取組の概要

カヌーに乗って、自然再生事業によって再生した水草の観察を観察したり、実際に「ヒシ刈り」を行い自然再生への協力作業を行いました。今年度はコロナ対策を講じた開催を検討した結果、募集人数を半分にして1班体制とし、自己紹介を事前に記入したプロフィールシートを司会が紹介する形とし、声を出したり触れあうことが少ないプログラム（行事で見られる動植物について絵を描く連想クイズ）を実施しました。参加者はリピーターのほか、自然再生に関心を持つ大学生の参加も見られました。



主催者の感想

雨天の中での開催となったが、参加者は高い意欲を持ってヒシ刈り作業を行い、行事の満足度も高かった。最初に刈り取った箇所を見学することでヒシ刈りの効果を実感でき、連想クイズで楽しみながら解説を行い、取組の必要性を落とし込めたことが満足度向上につながったと思われる。

今後も自然再生行事に参加したい、来年はボランティアとしても参加したいという意見が多くみられた。今後も地元自治体やボランティアスタッフと連携を図り、継続して開催できる体制づくりを進めたい。

現地見学会実施報告書

日時：令和2年9月5日（土） 8：00～15：30
場所：標茶町茅沼地区
行事名：釧路湿原ラムサール条約 40 周年記念 みんなで調べる復元河川の環境・2020（茅沼地区旧川復元現地見学会）
主催者：釧路国際ウェットランドセンター・釧路開発建設部 釧路湿原自然再生協議会（河川環境再生小委員会・再生普及小委員会）
参加者人数：24名
取組の概要 <p>自然再生事業を広く一般市民に理解してもらうため、「茅沼地区旧川復元現地見学会」を釧路国際ウェットランドセンターと釧路開発建設部とで共同開催しました。6班に分かれてカヌーとEボートで釧路川の五十石橋下流から下り、河岸の植生や河畔の景観などについて観察・記録しました。茅沼の直線河道と復元河道を下りながらその河川環境の変化を体感しながら、旧川復元事業に関する説明を行いました。その後、復元河道の下端部付近で下船し、堆積土壌調査と水生生物調査を行ってから、この日に調査した結果を振り返りました。</p> <p>※Eボートとは、10人乗りの大きなゴム製カヌーで、誰でも(everybody)簡単に(easy)楽しめる(enjoy)水辺の交流ツールです。</p>
   
主催者の感想 <p>今回で3回目の共同開催となりました。風もなく天候にも恵まれ、穏やかなで雄大な釧路川を堪能することができたと感じています。</p> <p>アンケートでは、「大自然のなかでの体験に感動。」「個人や民間業者の案内では得られない学術的な話がきけた」など多くのコメントがありました。旧川復元事業など釧路湿原で行われている自然再生事業がもっと興味を持ってもらえるように、見学会を継続していきたいと考えております。</p>

市民講座実施報告書

日時：令和2年9月12日（土） 10：30～12：00 【第1回】
令和2年9月27日（土） 9：00～11：30 【第2回】
令和2年10月3日（土） 10：30～12：00 【第3回】

場所：釧路地方合同庁舎【第1回、第3回】、温根内周辺フィールド【第2回】

行事名：釧路湿原ラムサール条約登録40周年記念 市民講座
地域の宝は地球の宝！ 釧路湿原の「すごい！」を体験しよう

主催者：環境省釧路自然環境事務所

参加者人数：11名

取組の概要

釧路湿原が日本で初めてラムサール条約に登録されてから40年となったことを記念して、一般市民の方に釧路湿原の価値や魅力を改めて見つめていただく機会として連続講座を開催しました。

釧路湿原の評価の変遷を学んだあと、普段は立ち入ることができない湿原を訪問し、湿原の「すごい！」を体験しました。まとめの座学では、これからの湿原と私たちの付き合い方を考えました。



第1回講座
変わる「すごい！」の評価軸



第2回講座
湿原フィールド訪問



第3回講座
これからの湿原と私たち

主催者の感想

ラムサール指定40周年を冠し、釧路国際ウェットランドセンターにも広報等ご協力いただき、予定人数を越える応募がありました。

初めての試みとして実施しましたが、連続講座として実施したことにより理解が深まり、フィールドでの驚きや発見にも繋がったのではと感じました。また、意見交換をとおして、参加者が湿原を身近な場所として考えるきっかけになったと思います。

現地見学会実施報告書

日時：令和2年9月13日（日） 8：30～12：40

場所：幌呂地区湿原再生区域（鶴居村 下幌呂）

行事名：幌呂地区湿原再生現地見学会

主催者：湿原再生小委員会事務局（釧路開発建設部治水課）

参加者人数：16名

取組の概要

自然再生事業を広く一般住民に理解していただくため、未利用地を湿原に再生している「幌呂地区湿原再生」事業箇所において、事業実施後の湿原植生の回復状況を見て頂くと共に、湿原を代表する植物であるヨシの移植体験、ハンノキを衰退させるための試験としてハンノキ環状剥皮（巻き枯らし）の体験を行いました。



ヨシの移植作業は初めに移植するヨシを根から掘り起こしまし



ぬかるみのある泥炭に穴を掘り採取したヨシを移植しまし



増殖したハンノキを、容易に枯死させるため、樹皮を環状に剥ぎました。

主催者の感想

今年で8回目の開催となり、新型コロナウイルス感染予防対策のため昨年より少ない人数の16名の方に参加していただきました。アンケートでは、「湿原の再生に手助けが出来た」「ヨシを植えたことが自然再生につながった気がしてうれしい」など湿原と直に向き合えた感想が添えられ、釧路湿原の保全に関心があることを実感いたしました。これからも、釧路湿原の再生に向けて、この見学会を引き続き開催したいと考えております。

現地見学会実施報告書

日時：令和2年10月9日（金）10：00～15：30

場所：久著呂川の土砂流入対策箇所等（鶴居村・標茶町）

行事名：第7回久著呂川自然再生の見学ツアー

主催者：土砂流入小委員会事務局（北海道釧路建設管理部治水課）

参加者人数：7名

取組の概要

久著呂川の上流、中流、下流を巡り、釧路湿原への土砂流入対策の現状や効果、河川環境の回復状況について、モニタリング体験するツアーです。

上流域では、川の流れ、生息する動植物を観察しながら特徴を学び、中流域では、対策前後の河川環境を比較し、自然の回復状況を確認しました。下流域では、河川沿いの土砂調整地で土砂の堆積状況や湿原流入部土砂調整地の人工ケルミの状況を見学した後、流域全体の土砂対策効果の説明を聞きました。



主催者の感想

今回の見学会では、新型コロナへの感染防止に配慮し、参加人数の制限、ソーシャルディスタンスを確保した中での開催となりました。各施策を実施している箇所の見学や、胴長を履いて生息する魚類を観察したり、流速を計測するなどのモニタリング体験を通じ、久著呂川の土砂流入対策を実施したことによる効果について理解を深めていただけたと感じています。

現地見学会実施報告書

日時：2021年2月6日（土） 9:00~11:30、13:00~15:30

場所：達古武自然再生事業地（西の沢、東の沢）

行事名：自然再生を考える調査体験会 2020 森づくりと生き物しらべ

主催者：環境省釧路自然環境事務所

参加者人数：21名（一般）、23名（教員及び高校生）

取組の概要

カラマツ人工林を地域由来の広葉樹林へ戻す自然再生の取組により、元の森に近づいているかをモニタリングする生き物調査を体験する行事を行いました。自然再生事業を行っている森の中の沢で、網を使って魚などの生き物を捕まえて観察しました。その後、沢を遡上しながら湧水の様子やシカなどの生き物の痕跡を見たり、源流部で水生昆虫や二ホンザリガニを探しました。午前と午後で実施場所（沢）を変え、2部構成で開催しました。



主催者の感想

普段歩くことがない、道の付いていない雪の積もった沢沿いを歩くのは大変そうであったが、普段見ることがない冬の森の中の姿や沢の生き物の様子を、参加者は興味を持って観察していた。

専門家による自然や生き物の観察の仕方に接し、多くの方が自然や生き物について新たな気づきを得て、興味を持ってもらうきっかけになると嬉しい。

参加者アンケート集計結果

資料 1 - 4

・アンケート配布行事数：6 行事

・アンケート回収数：75 名分

※行事名称の略称は以下のとおり

ヒシ刈り：カヌーde ヒシ刈り in 達古武湖

茅沼見学会：みんなで調べる復元河川の環境・2020（茅沼地区旧川復元現地見学会）

市民講座：地域の宝は地球の宝！釧路湿原の「すごい！」を体験しよう

幌呂見学会：幌呂地区湿原再生現地見学会

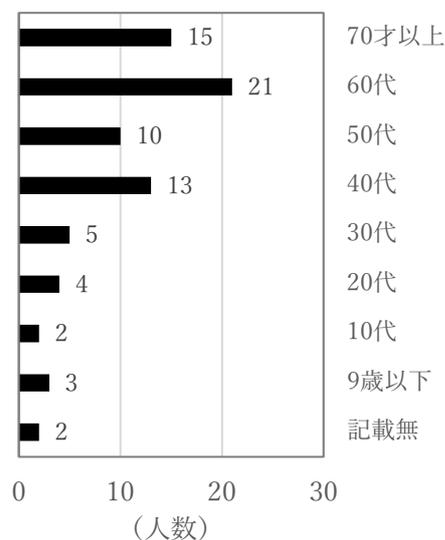
久著呂見学会：第7回久著呂川自然再生の見学ツアー

調査体験会：自然再生を考える調査体験会 2020 森づくりと生き物しらべ（達古武地区）

設問 1. あなたの年齢を教えてください（選択式）

○参加者の年代（左表：各行事別の集計値、右図：回答項目別の 6 行事合計値（単位：人）以下同）

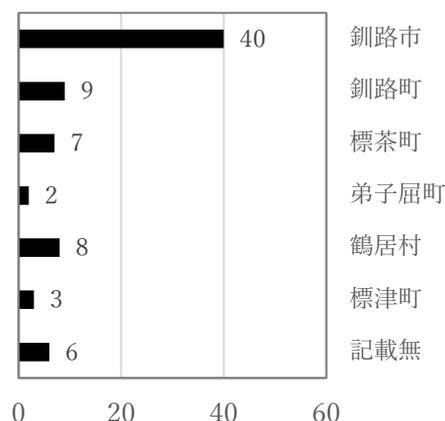
参加 行事 年代	ヒシ 刈り	茅沼 見学会	市民 講座	幌呂 見学会	久著呂 見学会	調査 体験会
70才以上	3	4	0	7	0	1
60代	7	4	1	6	1	2
50代	3	0	4	0	1	2
40代	1	0	5	1	2	4
30代	2	0	1	0	0	2
20代	1	0	0	0	2	1
10代	1	0	0	0	0	1
9歳以下	0	0	0	0	0	3
記載無	0	0	0	0	1	1
回答者数	18	8	11	14	7	17



設問 2. あなたのお住まいを教えてください（選択・記入式）

○参加者の居住地

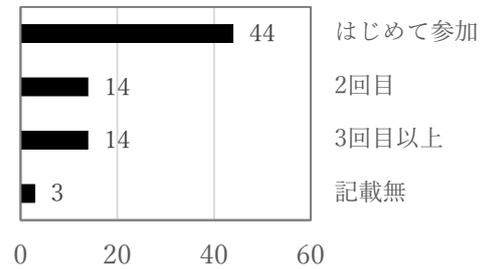
参加 行事 居住地	ヒシ 刈り	茅沼 見学会	市民 講座	幌呂 見学会	久著呂 見学会	調査 体験会
釧路市	9	6	8	11	3	3
釧路町	9	0	0	0	0	0
標茶町	0	0	2	1	2	2
弟子屈町	0	0	0	1	0	1
鶴居村	0	2	1	1	1	3
標津町	0	0	0	0	0	3
記載無	0	0	0	0	1	5



設問3. 今回参加された行事への参加回数を教えてください（選択式）

○当該行事への参加歴（各行事集計値）

参加行事 参加歴	ヒシ刈り	茅沼見学会	市民講座	幌呂見学会	久著呂見学会	調査体験会
はじめて	15	1	11	4	5	8
2回目	1	6	0	3	1	3
3回目以上	2	1	0	7	0	4
記載無	0	0	0	0	1	2

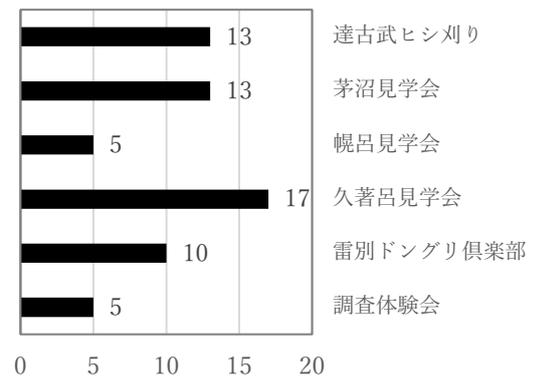


設問4. 自然再生協議会が実施する（今回参加した行事以外の）行事に参加したことがありますか

（選択式・複数回答）

○他行事への参加経験

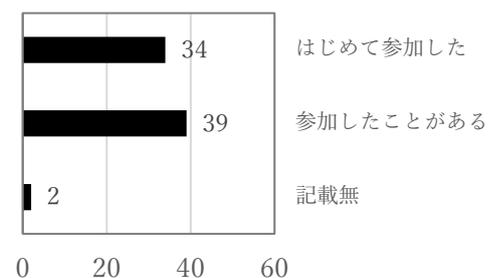
参加経験がある行事 参加行事	ヒシ刈り	茅沼見学会	市民講座	幌呂見学会	久著呂見学会	調査体験会
ヒシ刈り	/	1	2	4	2	4
茅沼見学会	0	/	0	9	2	2
幌呂見学会	0	2	0	/	2	1
久著呂見学会	0	4	0	9	/	4
雷別ドングリ	0	3	0	4	1	2
調査体験会	0	2	0	3	0	/



《参考》設問3. 4. の回答結果より、【釧路湿原自然再生協議会が実施する行事への参加経験】を集計

○自然再生協議会主催行事への参加経験

参加行事 参加歴	ヒシ刈り	茅沼見学会	市民講座	幌呂見学会	久著呂見学会	調査体験会
はじめて参加した	15	1	9	2	2	5
参加したことがある	3	7	2	12	4	11
記載無	0	0	0	0	1	1



設問5. この行事をどのようにして知りましたか（選択・記入式・複数回答）

○参加した行事を知ったきっかけ

参加 行事 媒体等	ヒシ 刈り	茅沼 見学会	市民 講座	幌呂 見学会	久著呂 見学会	調査 体験会
ワンダニュース	0	2	1	4	2	4
インターネット SNS	6	0	2	0	1	3
施設で見た チラシ,ポスター	2	0	0	0	0	2
所属団体からの 案内	0	7	0	10	2	2
新聞	4	0	6	1	0	3
市町村の広報誌	0	0	0	0	1	1
友人や知人から	2	0	1	1	0	0
その他	4	0	0	0	0	3
記載無	0	0	1	0	1	1

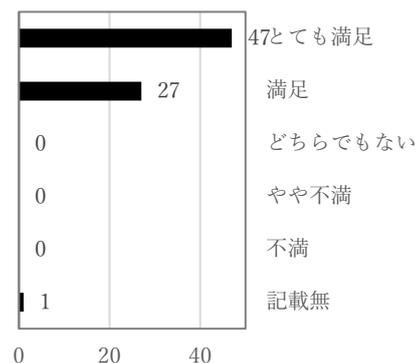


※その他内訳：メール（2）、ダイレクトメール（2）、以前から知っていた（1）、学校から（1）父から（1）

設問6. この行事に参加したご感想をお聞かせください（選択式）

○参加した行事の満足度

参加 行事 満足度	ヒシ 刈り	茅沼 見学会	市民 講座	幌呂 見学会	久著呂 見学会	調査 体験会
とても満足	16	7	11	3	3	7
満足	2	1	0	11	3	10
どちらでもない	0	0	0	0	0	0
やや不満	0	0	0	0	0	0
不満	0	0	0	0	0	0
記載無	0	0	0	0	1	0



その理由をご記入ください（設問6つづき、自由記載）

■達古武ヒシ刈り 参加者回答

- ・ヒシのことを楽しく学べた。カヌーも楽しかった
- ・守らなければいけない植物がよくわかった
- ・雨の中でも楽しめた
- ・カヌーに乗るのも楽しいし、雨の中でもとても楽しかった
- ・カヌーに乗ることも楽しかった。環境対策に関わるイベントに参加できて良かった
- ・大好きなカヌー、初めてのヒシ刈り、とても楽しかった。雨なんて全然気にならなかった
- ・雨もまったく気にならなかった。刈りとった所がはっきりわかったので

- ・湖がおだやかでこぎやすく、思っていたより手伝う事が出来た
- ・カヌーにも乗れてボランティアもできて充実した。クイズも楽しかった
- ・達古武の環境について知りカヌーも楽しくのる事ができて良かった。クイズ大会も楽しかった
- ・コロナであまり体を動かす機会がない中、レジャーをできて楽しかった
- ・スタッフの方参加した方みなさんがとても優しく楽しくヒシ狩りを行うことが出来た
- ・カヌーに乗れたこと、ヒシを刈るのが楽しい
- ・一人での参加だったが楽しかった。雨の中でのカヌーだったが、たくさんヒシがとれた
- ・初めてのカヌーはとても楽しく、色々な人と交流もでき、クイズも盛り上がり、雨が気にならないくらいだった
- ・色々な地域から来た方と知り合えた
- ・カヌー体験

■茅沼見学会 参加者回答

- ・初めてEボートに乗れた。ヤマセミも見れた
- ・Eボートでの川下り
- ・個人や民間業者の案内では得られない学術的な話がきけたこと
- ・あいにくの雨ふりでしたが途中降舟したおり色々な説明をしていただき納得した
- ・説明がわかりやすく良かった
- ・大自然のなかでの体験に感動
- ・静かな川の流れ。川底も見えた
- ・説明があつてよくわかった
- ・親切で丁寧な指導
- ・ふだん知り得ないことを多く学べた。専門家の話がとても楽しく勉強になった
- ・説明がしっかりされているのでわかりやすい
- ・新しい体験（皮はぎ）が出来た
- ・今までにない体験が出来た

■市民講座 参加者回答

- ・普段は入れないところに入ることができて、感動しました
- ・第1回で予習して、第2回で湿原を歩き、第3回で復習したことにより、理解を深めることができました。最高に楽しかった！
- ・あらためて自然はすばらしい！！と思った。何も知らなかったので、とても勉強になりました。もっともっと知りたい、学びたいです。標茶に転勤になってよかった！（4月に転勤してきました。） ※ヤチマナコでは重い体を支えていただき、ありがとうございました
- ・実際に湿原の中を歩く体験は貴重でした
- ・普段は入れない湿原の場所を案内していただいて、本当にありがとうございました。釧路湿原の詳しいことを知らなかったので良い機会になりました。ラムサール条約のことなど娘に伝えたい
- ・湿原の自然について、体験できたことは今後の人生に大きな影響を及ぼすと感じました。実体験を通じた活動ができてとても良かったです
- ・地元出身ながら、初体験ばかりで感動しました。ラムサール条約の成り立ちから現在の課題まで、大変勉強になりました
- ・普段人が足を入れられない湿原に行くことができ、本当に貴重な経験ができたので。まったく知らなかった知識をたくさん得られた
- ・今まで知らなかったことをたくさん知れた。湿原の中もガイドがすばらしかったので、とても良く理解できたと思います！！
- ・釧路地方にきて16年以上経ち、初めて湿原のことを学ぶことができました。体験も通して色々知ることが大切だと思いました。これからの生活に何かしら影響があるだろう講座になったと思います
- ・実際に湿原の中にはいることができたこと

■幌呂見学会 参加者回答

- ・体験学習が良い

- ・再生を経験出来て良かった。スコップなどの道具を充実した方がよいと思う
- ・丁寧に説明してくれる
- ・毎年再生した場所を見られるのがとても良い
- ・小さな作業が将来につながることを思うと感慨深い

■久著呂見学会 参加者回答

- ・説明が詳しく分かり易い
- ・川の中を見る事が出来た
- ・自然再生の取り組みを知る事が出来た
- ・実際に現地に行くことで土砂対策を理解出来た

■調査体験会 参加者回答

- ・たのしいから
- ・普段できない体験ができた。湧水、冬の川で生き物探し、教えてもらって面白かった。
- ・説明がわかりやすかった
- ・普通行くことが難しい源流部まで行くことができた
- ・冬季における水生動物に触れることができ、貴重な体験だった
- ・個人では来れない
- ・をかうより木を植える
- ・昆虫など詳しく説明いただけるので。普段は体験できないことなので。
- ・生き物にあえたから

設問7. この行事の中で最も印象が深かったことを教えてください（自由記載）

■達古武ヒシ刈り 参加者回答

- ・全部
- ・カヌー、ゲームとても楽しかった
- ・司会の方が楽しかった。ボランティアの方も一生懸命だったのが印象に残った
- ・カヌーと絵しりとり
- ・楽しく学びながらボランティアにもなるところが良かった
- ・大雨の中カヌーに乗ったこと
- ・カヌーを漕いでいてパドルにヒシがからまり漕ぎづらいこと
- ・雨の中でのカヌーだったがたくさんヒシがとれた。ヒシ刈りが終わる頃に雨がやんだ
- ・ヒシの根がとても長いという事にびっくりした
- ・小雨降る中でも実施できた事が喜ばしい
- ・ヒシの実が痛い！
- ・水草が多いところでのカヌーを漕ぐことが難しいこと
- ・天気が悪く寒かったが、実施出来た事が良かった
- ・こんなにたくさんヒシが生えているとは思わなかった
- ・クイズ
- ・伝言ゲーム

■茅沼見学会 参加者回答

- ・「E ボートでの川下り」 & 「色々な植物の存在を知ったこと」
- ・丹頂鶴やエゾシカを自然の中で見られたこと
- ・ボートからの眺めも良かった

- ・全てが新発見。良い学習だった。ありがとうございました
- ・ヨシ原の再生
- ・カヌーに乗ったこと

■市民講座 参加者回答

- ・ラムサール条約。浄化。自然はかわる
- ・第2回のフィールドワーク
- ・2回目のフィールドワーク最高でした
- ・2回目の講座でしたが、講義内容も大変参考になりました、ありがとうございます。ぜひ次回は、抽選でドキドキしない皆が受けられる人数だと嬉しいです
- ・やちまなこを近くで見れたことです
- ・ラムサール条約そのものについて知ることができたこと。フィールドワークで実際に湿原を感じられたこと。新庄先生による丁寧な説明
- ・実際に湿原に入り、体験したこと
- ・フィールドワーク。足が川底の泥にはまって全くぬけなくて本当に恐怖を感じた
- ・本物の湿原の中に入れたこと。湿原保護の歴史を知れたこと。とても分かりやすかった
- ・湿原のふわふわ感は忘れません
- ・新庄さんを知ったこと

■幌呂見学会 参加者回答

- ・ヨシの根が空洞だった。ハンノキの環状剥皮が大変だった。切った方が簡単なのに、色々なことを考えてやっているのだなあとと思った
- ・個人では湿原の中へ入る機会が少ないから
- ・ハンノキの皮はぎ
- ・去年ヨシを植えたところが元気に育っていた。ヨシの根が長く伸び、何本もつながっていた
- ・ヨシの移植も少しずつ再生されているのが見れて、環状剥皮も徐々に結果が見れて良かった
- ・ハンノキを削るのが、大変だった。男の人の力が必要と思った
- ・ヤチハンノキの皮をはぐこと。そして、徐々に枯れること
- ・ハンノキの制御方法を知った事が良かった
- ・人が手を入れたところを少しずつ再生するのは素晴らしいですね。ヨシもハンノキもうまくいくといいですね
- ・ハンノキが環状剥皮により、2~3年で枯れること
- ・植物(湿原)の再生の様子、乾燥地化、水を引き込む等、地味な作業ではあるが将来に湿原を残す、湿原を保護していく〇〇に改めて勉強になった。ヨシの根が意外に浅いことに驚き!「巻き枯らし」という言葉を初めて知り興味津々。1,2,3年後の木の様子が確認できればと思う
- ・ヨシがフィルタの役割をはたし、農地からの水をきれいにし、湿原に流入するという。泥炭を手作業で掘ったこと。なかなかできない体験だった

■久著呂見学会 参加者回答

- ・水生生物調査は楽しく、生態系の仕組みを知ることが出来た
- ・川の中での活動
- ・魚類見学
- ・アメマスやヤマメなどの魚がとてもきれいだった
- ・土砂対策等の再生事業自体が印象に残った。このようなツアーに参加しなければ知るきっかけが無かったため

■調査体験会 参加者回答

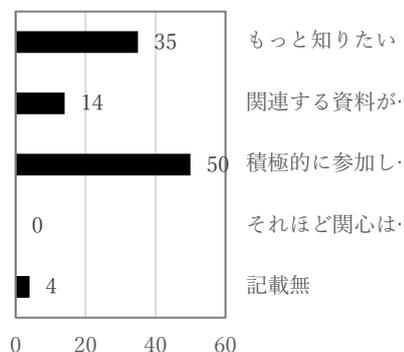
- ・川で魚を見るけれたことがうれしかったらしい(子供が)
- ・ヤツメウナギを捕まえたこと。
- ・水生昆虫さがし

- ・水生昆虫を見たこと
- ・沢の中の生物をじかに見ることができたこと。
- ・ヤツメウナギを見つけたこと
- ・魚がとれた
- ・氷の中で昆虫や小魚が生きていたこと。
- ・親子連れの自然探訪会大賛成
- ・普段見られない生き物が見られて新鮮だった。
- ・様々なシカの痕跡を感じられたこと。
- ・生き物を見る
- ・水生昆虫をさがしたこと

設問 8. 今回訪れた事業地では、再生事業が行われています。再生事業について関心はありますか
(選択式・複数回答)

○自然再生事業への関心

関心度 \ 参加行事	ヒシ刈り	茅沼見学会	市民講座	幌呂見学会	久著呂見学会	調査体験会
もっと知りたい	11	4	9	3	0	8
関連する資料が欲しい	3	0	3	2	0	6
積極的に参加したい	12	4	3	11	6	14
それほど関心はない	0	0	0	0	0	0
記載無	0	2	0	1	1	0



湿原の保全や再生に係る情報発信の拡充について

1. 地域の図書館や博物館における資料の整備について

釧路市中央図書館担当者との打ち合わせを踏まえ、以下の内容で資料整備を進める。

《収集方法について》

- ・ 収集部数

3部（内訳：書庫保管用、閲覧用、貸出用）

- ・ 図書館への情報提供

原則は図書館にて定めた情報がデータベースに登録されるが、資料提供者が希望する分類やキーワード等（※）を検索ワードとして登録することも可能なため、オフィスで統一したワードを情報提供する。

※）自然再生、小委員会名、事業地名等

- ・ 会議資料等の収集

会議資料やニュースレター等については、図書館職員により小委員会毎にファイリングし閲覧コーナーに配架することが可能。

- ・ 収集方法

再生普及行動計画オフィスにて既存資料を取りまとめて図書館に持ち込む。今後、随時発行される資料については、発行後オフィスにて随時図書館に持ち込む。

《対象とする資料》

- ・ 各事業地実施計画書（最新版）
- ・ 各小委員会発行ニュースレター（No. 1～最新号まで）
- ・ 自然再生事業および釧路湿原、流域河川に係るパンフレット、リーフレット等
- ・ 小委員会配布資料

《資料収集の周知》

一定の資料整備を進めた後、図書館と共催で館内での企画展の実施を調整する。また、各小委員会主催行事や発行物等においても周知を進める。

2. 各小委員会発行ニュースレターを活用した情報発信について

- ・ 令和3年度はワンダグリーンダ・プロジェクト登録者を対象として配布を拡充
- ・ より効果的な情報発信となるよう、再生普及小委員会のニュースレターを一例に紙面内容の検討及び見直しを随時実施する。